

会議録

会議の名称	西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会・第1回会議
開催日時	平成23年5月12日（木曜日）午後2時40分から午後3時15分まで
開催場所	西東京市役所田無庁舎3階 庁議室
出席者	委員：市川座長、須加副座長、饗場委員、新井委員、海老澤委員、小山委員、関口委員、高岡委員、高橋委員、中村委員、新野委員、野崎委員、橋岡委員、山西委員、吉岡委員 事務局：福祉部長、高齢者支援課長、介護保険担当課長以下5名
議題	(1) 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会の運営について (2) 座長、副座長の選出について (3) 今後の会議日程について (4) 会議録の取り扱いについて
会議資料の名称	配布資料： 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会委員名簿 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会設置要綱 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会傍聴要領 西東京市市民参加条例施行規則 高齢者保健福祉計画検討スケジュール・検討内容（案）
記録方法	☐ 全文記録 ☐ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☒ 会議内容の要点記録
会議内容	
1.開会 2.議題 (1) 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会の運営について ○事務局： 委員会の設置要綱では検討委員は20人以内となっているが、今年度は18人でお願いしたい。委嘱期間は本日から平成24年3月31日までとする。傍聴については介護保険運営協議会と同様で、傍聴要領のとおりとする。 (2) 座長、副座長の選出について ○事務局： 座長、副座長を選出していただきたい。 ○委員： 介護保険運営協議会と同様、座長は市川委員、副座長は須賀委員にお願いしてはどう	

か。

(異議なし)

○事務局：

では、座長を市川委員、副座長を須賀委員に願います。

○座長：

委員の皆様のご意見を聞きながら会議を進めたい。傍聴の方にもわかりやすい進行を心掛けたい。

(3) 今後の会議日程について

○座長：

今後の会議日程について、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：

介護保険運営協議会を1時間30分、10分の休憩をはさみ、引き続き高齢者保健福祉計画検討委員会を1時間20分という時間配分で、会議を進めたい。今日は日程および進め方の確認、次回から本格的な検討に入ってください。6月から7月にかけて現行計画から次期計画に向けた課題、8月に次期計画のビジョン、10月に次期計画の施策体系、11月に計画素案、1月に市民説明会とパブリックコメントといった内容で、ご検討いただく予定である。場合によっては、会議の回数を増やすことも検討するが、なるべく8回の会議の中でご検討いただきたいと考えている。

○座長：

会議の日程をご確認いただき、スケジュールを確保していただきたい。

(4) 会議録の取り扱いについて

○座長：

次に会議録の取り扱いについて、事務局から説明をお願いしたい。

○事務局：会議録については、要点記録でよろしいか。

(異議なし)

○座長：

介護保険運営協議会と同様ということで、確認できた。高齢者保健福祉計画は幅広い計画であるので、今後の進め方、介護保険計画や地域福祉計画など、他の計画との整合性も求められる。ご意見があれば。

○福祉部長：

他の計画との整合性には留意したい。

○座長：

子育てや健康などの計画もあり、整合性には留意する。

○委員：

重点プロジェクトは想定しているか。

○事務局：

現計画では3つある。これらが目標を達成できたのかどうか、第2回～第3回の会議では総括し、次期計画でどうするか、ご検討いただきたい。

○委員：

現計画でどのような事業があるのか知らないと、全体像が見えてこない。

○座長：

高齢者だけではなく、介護をしている人や、介護をしている人が知的障害者である、ひきこもりであるなど、高齢者だけにとどまらない問題がある。横出しと言う形で課題をあげていきたい。

○委員：

介護困難ケースの問題もある。特に障害と高齢との関係が重要だ。

○座長：

介護困難ケースについて、課題になっていることがあるか。

○委員：

認知症の問題などがある。

○委員：

民生委員の活動も本人中心だったが、これからはいろいろと考える必要があると思う。

○委員：

東日本大震災を契機として、助け合いの気持ちが強くなっている今、チャンスである。コミュニティ計画、コミュニティ論について市はどのように考えているのか。

○福祉部長：

生活文化の主管課で、地域コミュニティの調査研究を始めたところである。

○委員：

いろいろなコミュニティがあるが、たどりつくのは福祉である。どのようなコミュニティをつくるかという視点を組み込む必要がある。

○座長：

部署が違うということだが、情報交換・情報提供していただきたい。助け合い、支え合いは生活と結びつく。必ず出てくる問題なので、つなぐという視点が大切である。

○委員：

今年度実施する調査では、震災後の変化も明らかにできるとよい。

○事務局：

第2回もしくは第3回の会議で、調査結果についてもお報告したい。調査結果から見えてきた課題は、介護保険計画に落とし込むもの、高齢者保健福祉計画に落とし込むものがあると思う。

○座長：

介護保険運営協議会の方で整理していただくとよい。

○委員：

まずは現行計画の内容をつかんでからでないと、何とも言えない。

○委員：

現行計画の総括については、なるべく早めに資料がほしい。

○副座長：

高齢者保健福祉計画では、孤独死防止、消費者保護など、重点的に取り上げたい。

○座長：

本日は今後の進め方について確認できたので、これで終わりにする。

○福祉部長：

次回は6月30日を予定している。タイトなスケジュールだがよろしくお願ひしたい。介護保険料がどうなるか、事務局としても心配なところである。意識調査は震災前に実施したが、震災後はどのように市民の意識が変化していくか。障害者の計画なども同時並行で検討している。ご協力をお願いしたい。

○事務局：

次回の会議は6月30日で、場所は保谷庁舎の6階を予定している。